

演題「子どものやる気や自信、感動する心を育てるために」

畿央大学 教育学部 現代教育学科准教授
永淵 泰一郎

○なぜ今の保育が対話的で深い学びが必要なのか

○こども主体を放任と思われるのを真のこども主体について

- ・こども主体は、「好きなことをする」ではない
- ・イタリアのレッジョ・エミリア州で行われている幼児教育実践 10か月の赤ちゃん

○子どものやる気

○子どもがワガママ。どうして？

○自信を獲得するために

○感動する心

- ・不思議と発見の世界
- ・子どもにとっての知識

●しつけの言葉の意味

- ・仕付け糸

●教育の難しさ

- ・北海道の話
- ・ピーピー豆と月のウサギ

●大人の概念

- ・3つの絵
- ・リンゴの話

○子どもは自ら育とうとする

◆今日の講演で自分にとって一番価値ある話は？

講演会メモ